

## 日本製紙株式会社（3年商業科生徒）

私は、日本製紙株式会社八代工場へ就職させて頂くことになりました。志望動機は、この会社がこれまで八代の発展を担ってこられ、この八代で世界を相手に優れた商品を生産し、地元の経済はもちろん、日本経済を支えておられると思ったからです。私も会社の一員として迅速かつ丁寧な仕事に励み社会に貢献したいと決意を高めています。

進路選択においては、こちらの会社の求人のご紹介を伺うまでは、自分なりにいろいろ悩みました。最初は、就職は考えておらず、家業を継ぐために関連の専門学校を考えていました。また、高校入学当初に、バスケットボール部で大きな怪我をして手術も経験しました。その時私を支えてくれた病院の先生や、理学療法士の方々に憧れを持っており、専門学校に進学し理学療法士になるとほぼ決めていたところでした。

そのような中、進路指導部の先生から就職の方向に考え直してみないか、というお声をかけて頂きました。その求人票は日本製紙様で、久しぶりに本校に求人されたそうで、先生がご紹介をして頂いたのは私を期待してのことでした。とても名誉なことだと思いますが、大企業であることと、3名受験で1名合格という狭き門で、期待に応えられるかという不安もあり、親とも相談しました。その結果、腹を決めて就職に切り替えて挑戦することにしました。就職に決めたからには、精一杯頑張ると決意し、就職試験のために本腰を入れました。

試験内容は、一般常識・面接・作文・適性検査です。最初に問題集を購入し勉強しました。過去の出題情報を集め、過去問を解き、作文の準備をしました。一般常識は、全てマークシート形式で、一時間で約二百の問題数でとても多かったです。後に一番力を入れた面接でした。挨拶と話す内容については特に意識して準備しました。放課後、決められた面接練習以外にも、終わってから毎日のように色々な先生にご指導を頂き、思うようにできなくて落ち込んだこともありましたが、何度も何度も改善を図り、より良いものにする努力をしました。そして試験前日には、校長先生にもお願いし、自信をつけ本番に挑みました。作文は、一時間で千文字程度を書くものでしたので、時間が足りるかとても不安でした。しかし、作文についても予想される題名を何種類も想定して練習し、先生方に添削して頂いていたので、思っていたよりスムーズに書くことができましたと思います。

今回、無事合格できたのは、自分一人だけでなく、色々な場面で支えて頂いた先生や多くの方々によって合格を勝ち取れたと確信しています。ですので本当に感謝の気持ちでいっぱいです。久々に東高に頂いた日本製紙様の求人を来年以降に繋げられるように必死に頑張ります。

偉そうなことは言えませんが、後輩の皆さんも、1年次から早めに進路意識を高く持ち、日頃の勉強や検定取得、部活動においても常に努力し、自己実現へ向けて自分の進路を切り拓き、飛躍できるよう頑張ってください。